

SXSW 2023にて約500人が体験、「LOVEを感じた」と大反響
自分で自分をだきしめる新体験
ベスト型ハグ体験テクノロジー「Hugtics」最新作を発表
ハグによる幸福感や自己肯定感など、メンタルヘルスの向上に貢献

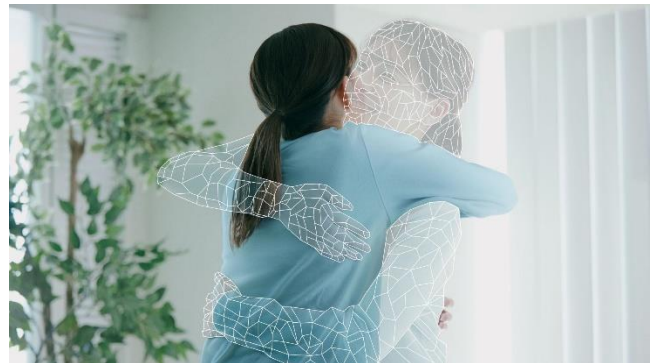
サイト：<https://motiondatalab.com/hugtics/>

テクノロジーとアイデアを起点とした社会課題の解決や、あたらしい表現開発を実践する Dentsu Lab Tokyo（東京都中央区、代表：神谷俊隆/田中直基）は、世界最大級のテクノロジーと音楽・映画の祭典「SXSW 2023」（サウス・バイ・サウスウエスト 2023、米テキサス州、2023年3月12日(日)～15日(水)開催）に参加。「ハグ」による幸福感や自己肯定感を高める新しいメンタルヘルスを目指し、ベスト型ハグ体験テクノロジーを用いたプロジェクト「Hugtics(ハグティクス)」を出展しました。



Dentsu Lab Tokyo メンバーの大瀧が統括を務める本プロジェクトは、ハプティクス技術(※触覚を擬似的に再現する技術)を用いてハグのデータを計測し、自身や他者の体へアウトプット。更なる効果を脳波で測定し、メンタルヘルス領域をはじめ多様な社会課題に貢献していきます。

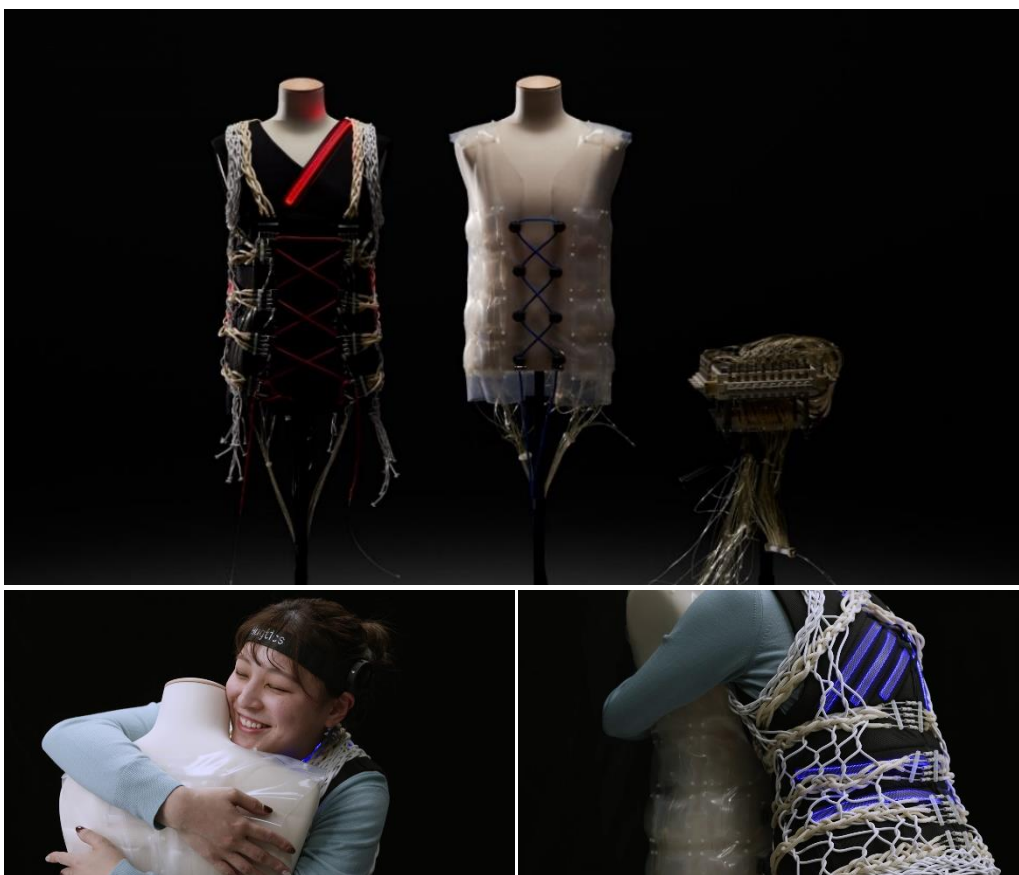
本プロジェクトの初披露の場となる SXSW 2023 では、“自分で自分を抱きしめる”新しいハグ体験や他者のハグを転送する体験型デモンストレーションに挑戦しました。



医療技術が発展し平均寿命が伸び続ける一方、うつ病をはじめ精神面の課題を抱える人々は世界的に増え続けています。このような中、精神的な健康を目指す「メンタルヘルス」が注目を集めています。「ハグ」は脳の中で分泌されるオキシトシンというホルモンが分泌され、人と人との信頼や愛着を強めたり、ストレスを低減させたりする効果があり、幸福感が増すとされています。ハグの力によって、様々な場面で人の心を通わせ豊かさを感じるきっかけになればと考えております。ハグをテクノロジーによって時間、距離、概念までを越えた新しいハグに進化させ、幸福の総量を生み出したいという思いから、まずはじめに自分で自分を抱きしめる新しいハグ体験から挑戦をはじめました。

「Hugtics」技術について

「Hugtics」の体験を実現するにあたり、研究者の高橋宣裕さんとコラボレーションしています。コア技術は、人工筋肉が編み込まれたウェア型デバイス。このウェアを着ながら圧力センサーを付けたトルソー（写真右）を抱きしめ、ハグのデータを計測し、人工筋肉（写真左）にフィードバックすることで、自分で自分を抱きしめるという未知の体験を実現します。



更に、電通サイエンスジャムの「感性アナライザ」を用いて脳波をセンシングし、ハグ時の幸福度に関連する複数の感情変化を計測。その効果を独自のアルゴリズムで可視化し、ベスト型ウェアに内蔵した LED の色に反映し直感的に効果がわかる仕様です。また、ベストと人工筋肉をセットにすることで人工筋肉をより面での圧力に変え、ハグの感覚に近づけました。実際に自分自身をハグすることは難しいなか、テクノロジーの力でそれを実現させ、今後ハグのデータで医療、孤独対策、メタバースなど、様々な分野の課題に挑戦し、アップデートしていきます。



- ・ Hugtics ウェブサイト：<https://motiondatalab.com/hugtics/>
- ・ 電通 SXSUW 特設サイト：<http://dentsuSXSUW.com/jp/>

「SXSUW 2023」出展の様子

「Hugtics」を出展した電通ブースの今年のコンセプトは「Unnamed Sensations（まだ名もなき新しい感覚）」です。「触覚」「食感」「嗅覚」という3つの感覚の拡張がテーマでの出展の中、ハグに関する触覚を提示する「Hugtics」のブースには、3日間で約500人が来場し、大盛況に終わりました。

体験した方からのコメント（一部）

- ・「孤児の子どもたちに、ハグを届けてあげたい。」
- ・「国を超えたりモートでのハグの可能性を感じる。」
- ・「いつの間にか亡くなった父とのハグを思い出して幸せな気持ちになった。」
- ・「この技術で、お母さんのハグを記録に残しておきたいと思いました。」
- ・「ハグをされている気持ちだったのが、徐々にハグを与える気持ちに変わり、より幸せを感じました。」



Dent

【本件のお問い合わせ先】

Dentsu Lab Tokyo PR 事務局（株式会社プラチナム内） 担当：稲本、角本、森脇
 TEL：03-5572-6072 FAX:03-5572-6075 MAIL：dentsulabtokyo_pr@vectorinc.co.jp

本プロジェクトを考案した原体験として、私が社会人になり実家の母にはじめてハグをした際、涙を流し喜んでくれた経験がありました。この人を幸せにする力を持つハグという行為を、現代の技術で再発明できないだろうか。そして人類がより幸せに生きるための兆しを作れたらと考えスタートしました。その際、大学時代の後輩にあたる高橋宣裕さんの研究を思い出し、コラボレーションの依頼を出させていただきました。今回はプロジェクトの第一歩として、コアテクノロジーに高橋さんの研究を置きつつ、我々は脳波測定とその結果をLED付きのベストに反映して新しいコミュニケーションを生み出すことや、人工筋肉をよりハグの感覚に近づけるためのウェア素材、体験デザインなど探求してきました。今後は、高橋さんの技術力と我々のビジョンを描く力やデザイン力、社会実装力のトータルでのクリエイティビティを掛け合わせ、より発展させていきます。ご興味を持っていただけた方はぜひお声がけください。

「Hugtics」スーパーバイザー 高橋 宣裕コメント

今回の SXSW2023 での展示は、改めてハグという行為の偉大さを知る重要な機会となった。来場者は自己抱擁という、かつて行うことができなかった体験に新鮮さを感じて楽しんで頂けたように思う。印象的であったことは、体験時間が増すにつれ、その体験者自身の大切な誰かを思い出しながらハグをしていたという意見を数多く得たことである。本作による自己で完結する最も”独りよがり”な体験が、寧ろそこにいない他者に想いを馳せることに繋がるという人間と他愛の不可分性のようなものを感じざるを得なかった。今後もハグというコンテンツの可能性を追求し、電通とのコラボレーションによって社会実装を加速させていきたいと考えている。

Dentsu Lab Tokyo について



Dentsu Lab Tokyo (デンツウラボトウキョー)は、研究・企画・開発が一体となったクリエイティブの R&D 組織です。「PLAYFUL SOLUTION」「おもいもよらない」をフィロソフィーとしながら、デジタルテクノロジーとアイデアによって、人の心を動かす表現開発や、いま世の中が求める社会の課題解決を実践しています。

<https://dentsulab.tokyo/>

【本件のお問い合わせ先】

Dentsu Lab Tokyo PR 事務局 (株式会社プラチナム内) 担当：稲本、角本、森脇
TEL : 03-5572-6072 FAX:03-5572-6075 MAIL : dentsulabtokyo_pr@vectorinc.co.jp